

国語 一一	第一学年及び第二学年の内容 いろいろな言葉①	年	組	番
	名前			

つぎの文の () にはあはれることばを、あとの からえらび、かきまようよう。

① 雨^{あめ}が () ちふりはじめた。

② 日^ひより日^ひは、とても () ちふりすくじかできた。

③ はちみの先^{ちち}は、 () いるので、人^{ひと}にむけるともふない。

④ () の道^{みち}をあるく。

じりほり	ちがって	のんびり
じりじり		

国語 一一一	第二学年及び第三学年の内容 いろいろな言葉①	名前	年	組	番
-----------	---------------------------	----	---	---	---

つぎの文の () にはあてはまることばを、あとの からえらび、かきましょう。

① かげりは ()。

② 高原は、夏でも ()。

③ 春の () 日だ。

④ 朝の空気は () として、
ちよい。

あたたかい ひんやり つめたい
すずしい

国語 三十七	第二学年及び第三学年の内容 いろいろな言葉③	名前	年	組	番
-----------	---------------------------	----	---	---	---

つぎの文の（ ）に当てはまる言葉を、あとの□からえらび、書かしよう。

① （ ）とましますしつぱらしてまう。

② ころんだけがをしたら、なかなかいらいに（ ）。

③ 今かんがえても、あの人ごみの中で母にあえたのは（ ）。

④ たくさんの友だちと遊ぶと（ ）。

楽しい しんじられない あせる
がまんする

国語 二二八	第一学年及び第二学年の内容、 いろいろな言葉③	年 組 番 名前
-----------	----------------------------	-----------------------

つぎの文の () に当てはまる言葉を、あとの からえらび、書きまわそう。

- ① ろうかを走^{はし}りまわしたことを (はんせいする)。
- ② じゃんけんで勝^かつておめでとう、とても (おんねん) だ。
- ③ 図工^{ずこう}の時間^{じかん}に、ロボット^{ろぼと}作りに (むちゅうらになる)。
- ④ 先生^{せんせい}にほめられて、すなおに (おんねん)。

よるこぶ はんせいする おんねん
むちゅうらになる

<p>国語 十四十九</p>	<p>第二学年及び第二学年の内容 主語と述語</p>	<p>名前 年 組 番</p>
--------------------	--------------------------------	---------------------

この文について、あとのもんだいに取り組んでみましょう。

①ぼくは、八丈島の海で遊ぶ予定です。

②トビホが、たくさんとんでいます。

もんだい1

①と②の文の述語に _____ をひきましよう。

もんだい2

①と②の文の主語に ~~~~~ をひきましよう。

<p>国語 十四十</p>	<p>第二学年及び第二学年の内容 主語と述語</p>	<p>名前</p>	<p>年</p>	<p>組</p>	<p>番</p>
-------------------	--------------------------------	-----------	----------	----------	----------

つきの文について、あとのもんだいに入ってください
しょう。

①スカイツリーが、つきのとおり見えま
した。

②みかさんのお兄さんは、学校へ行ま
した。

もんだい 1

①と②の文の述語に _____ をひきましよう。

もんだい 2

①と②の文の主語に ~~~~~ をひきましよう。

国語 十五—四	第一学年及び第二学年の内容 「です」「ます」	名前	年	組	番
------------	---------------------------	----	---	---	---

つぎの文章を「です」「ます」「でした」「ま
 した」でおわる文章にかきなおしましょう。書き直
 したいところに——をひき、そのよりにかき
 おしたくまをかきましょう。

つりました。

【れい】魚をわらわ。

日よう日に、上のどうぶつえんにくまを見に
 いった。上のえきででんしやをかりて、どうぶつ
 えんまであるいた。どうぶつえんは、たぐれんの
 人でいんでいた。

国語 十五十五	第一学年及び第二学年の内容 「です」「ます」	名前 年 組 番
------------	---------------------------	-------------------

つきの文章を「です」「ます」「でした」「まし
 た」でおわる文章にかきなおしましよら。書き直
 したいところに——をひき、そのよりにかきな
 おしたこばをかきましよら。

つりました。

【れい】魚をやた。

ぼくは、今日の朝、七時におきた。「おはよう」

とおかあさんにあいせつをした。すると、おかあ

さんは、ぼくを^み見て「おはよう」とあいせつをし

てくれた。